

# The TENDAI journal

発行所：天台宗出版室  
発行人：出版室長 寺本 亮洞  
〒520-0113 大津市坂本4-6-2  
天台宗務庁内 電話：077-579-0022(代)  
Eメール：T-Press@tendai.or.jp

平成31(2019)年4月1日月曜日  
(毎月1日発行)1部50円(消費税込・送料別)

天台ジャーナル



広報天台

## 座主猊下を大導師に犠牲者回向法要を厳修 東日本大震災

### 犠牲者の回向と一日も早い復興を願って

死者行方不明者が1万8000人を超え、大きな被害をもたらした東日本大震災から8年が経った。今なお5万1178人が避難生活を余儀なくされ、福島では原発事故による避難者は3万2600人にもものぼる。(3面に関連記事)

被災地では被災者向けの災害復興住宅の建設が進むなど、復興は進捗しているように見えるが、被災者の心のケアなどが課題となっている。これらの対応として、第



144 回宗議会で杜多道雄宗務総長が、大震災などの被災者の心のケアも含め「臨床宗教師や臨床仏教師養成の環境作りを心がけたい」と述べ、被災者への宗教的ケアに取り組み意向を明らかにしている。

こうした状況の中、今年も3月11日、比叡山延暦寺や被災地各地で慰霊法要が営まれ、犠牲者の回向と被災地の一日も早い復興を祈願した。

延暦寺阿弥陀堂では、午後2時半から森川宏映座主猊下を大導師に犠牲者慰霊回向法要を厳修。延暦寺一山僧侶出仕のもと、天台宗からは林光俊社会部長、森田源真教学部長、森定慈仁一隅を照らす運

動総本部長が参列。また参拝に訪れていた参列者らが黙祷と焼香、発生時刻の2時46分には梵鐘が撞かれ犠牲者の冥福を祈った。(写真)

陸奥教区中尊寺では、午前10時半から陸前高田市の小友町若荷地区にある「小友地藏尊」で山田俊和貫首を大導師に回向法要を営み、大阪など遠方からも参列者を得て供養した。

小友地藏尊では、月命日に必ず法要を営んでいる。

また午後2時からは中尊寺本堂でお勤めし、2年前に建立された慰霊碑前でお参りした後、発生時刻に合わせて大鐘が撞かれ参列者全員で犠牲者を追悼した。

### 比叡の大護摩

人類の安寧を願って

世界平和と除災招福を祈願する「比叡の大護摩」が3月13日、西塔峰道広場の伝教大師尊像前で執り行われた。森川宏映座主猊下は、11時



と13時半の2座の大導師を勤められ、今年も天皇陛下在位30年と、皇太子殿下の御即位、そして大護摩が30回目の節目を迎えたことを奉告。人類の安寧と世界平和実現を願う祭文を言上され、続いて大護摩の炎へ護摩木を投げられた。(写真)

この日だけで6座が修され、約5千人の参拝者があった。全国から寄せられた10万本にもなる護摩木が、行者らにより次々と投入されると、参拝者らは一心に祈りを捧げた。

### 極微

今まで知らなかった言葉であるが「2025年問題」という言葉がある。2025年には人口の20パーセント、つまり5人に1人が75歳以上の「後期高齢者」になる。その時に様々な問題が起きてくることから「2025年問題」と言われるようになったのだ。まだ少し時間があるからか、今のところ、テレビなど、世間で騒がしく取り上げられることもない▼で、何が問題となってくるかといえば、膨れ上がる年金給付で、年金制度がこのままだと立ち行かなくなるので、と危惧されることだ。関連することだが、医療費増大による財政圧迫、介護施設不足や充分でない介護システムの問題などもある▼後期高齢者を支えるためには、現役世代による税金などの財政負担の増大しかない。しかし負担の増える現役世代からは「なぜ我々が老人を過大に支えねばならないのか。我々が年老いた時も同じように支えてくれるのか」という声も上がっている。少子化で先細る現役世代からの悲鳴だ▼残念ながら今の段階では、これといった解決策はないようである▼世界に類を見ないぐらいに急速に少子高齢化社会となった日本。「百年も生きりゃ貯金に先立たれ」というシルバークリッパがあったが、本人の貯えだけでなく、支える国や社会の経済余力もおぼつかない。さて、前例のない事態だけに、どう対処していくべきか。